

言問い(こととい)：50周年記念植樹イチイに命名されたものです。

令和6年度 西春別中学校 第8号

こととい

令和6年10月31日 発行



< 校 訓 >

自 主 友 愛 有 能

< めざす生徒像 >

- ・自ら学び考える生徒
- ・心と体を鍛える生徒
- ・協働する生徒
- ・郷土を愛する生徒

発行責任者 校長 綾野 正巳

WE ARE THE ONE

西春別中学校長 綾野 正巳

「we are the one」生徒達が考えた今年の文化祭テーマです。とても素敵なテーマだと感じました。仲間との絆を大切に、皆で協力して取り組んで行こうという意欲が伝わってきました。このテーマ通り、生徒達は、素晴らしい舞台を披露しました。

有志発表や劇で堂々と振る舞う姿に精神的な逞しさを感じました。全校器楽では、真剣に練習に取り組み、上達していく姿を見ることができました。全校合唱では、毎朝、各パートで集まって練習する姿に、生徒たちの絆が深まっていくのを感じました。そして、去年も感心したのですが、会場づくりなどの準備や後始末も一生懸命取り組んでいました。その直向きさは、西春別中学校の自慢です！

本校の【目指す生徒の姿】「様々な人と協働する生徒」「強い心と体を鍛える生徒」を体現することができた有意義な文化祭となりました。



WE ARE THE WORLD

今年の文化祭のテーマを見たときに、私は「We Are The World」という曲を思い出しました。ご存じでしょうか？1985年にアメリカの名だたるミュージシャンが集まり、アフリカの飢餓を救済するために制作されたチャリティー・ソングです。プロジェクト名は「USA for Africa」(USAは「United Support of Artists」の略)と名付けられ、楽曲や関連グッズの印税はすべてアフリカの飢餓・貧困救済の為に寄付されました。

当時、色々な音楽を貪るように聴いていた15歳だった私は、その曲の素晴らしさと、チャリティーソングの意義に衝撃を受け、音楽は素晴らしい！音楽が世界を動かすんだ！こうやって、世界は平和になっていくんだ！（俺もミュージシャンになるぞ！...）と輝かしい未来を想像していました。しかし、40年経った今、平和とは呼べない世界情勢に悲しくなります。

自分以外の誰かのために行動を起こす、仲間と協力して大きな目標を成し遂げる、子ども達がそんな人間に成長していくことを願っています。



読書の秋 マンガも OK!?

今の大人は子どもの頃に「マンガを読んでもばかりいないで勉強しなさい！」とよく言われた方も多いのではないのでしょうか。以前は「マンガを読むことが悪い」という風潮があったりしましたが、最近では、マンガを読んでも読書と同等の効果が得られると言われていています。その効果とは、創造力の向上・感性の向上・記憶の定着・意欲の向上・ストレス解消です。

私は、家庭訪問で「マンガを読みますか？」と聞いていました。実は「マンガを読まない」のではなく「マンガを読めない子」が増えていたからです。集中力が続かない、ストーリーの重なりが理解できないからマンガを読めないのです。そういう子には学習面での配慮が必要でした。ある程度の学力がないとマンガを楽しむことができないのです。ですから、小学生の親には「マンガでも良いから読ませて下さい」と伝えてきました。

読書の秋、保護者の方が中高生時代に読んでいたマンガをお子さんに紹介してみてもいいのではないでしょうか。きっと親子の楽しい対話も増えると思います。